

アスベスト目視調査報告書

鹿沼市花木センター解体等予定建築物アスベスト含有事前調査業務

建物No.21 倉庫3

2025年 3月

株式会社 環境公害分析センター



鹿沼市長殿

石綿含有建材有無に関する事前調査等結果報告書

貴社より委託を受けた石綿含有建材有無に関する調査結果は、下記に記載した通りであることを報告いたします。

(会社名) 株式会社 環境公害分析センター
(住所) 栃木県宇都宮市問屋町3172番地85
(調査責任者) 鈴木 樹



調査の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 1.石綿則第3条および大防法第18条の15に基づく事前調査 <input type="checkbox"/> 2.その他調査		
調査期間	一次調査 ー	二次調査 令和7年 3月 10日	
調査責任者	(氏名) 鈴木 樹		
	(資格名等) 建築物石綿含有建材調査者 (登録番号) 第 22104399号		
	(所属) 株式会社 環境公害分析センター		
分析者	(氏名) 平山 裕士		
	(資格名等) 石綿分析技術評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価区分1 2409合0266号 / <input type="checkbox"/> 評価区分3 2411A0085		
	(所属) 株式会社 環境公害分析センター		
対象物件概要	施設名	建物No.21 倉庫3	
	竣工年	昭和51年(1976年)	文書 記録
	所在地	鹿沼市茂呂地内 鹿沼市花木センター及び周辺(19建築物)	
	規模	92.74㎡ 地上1階建て	用途 倉庫
	建築構造	軽量S造	
調査対象材料	<input type="checkbox"/> 改修工事対象のすべての建築材料 <input checked="" type="checkbox"/> 解体工事対象のすべての建築材料 <input type="checkbox"/> 吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材 <input type="checkbox"/> 耐火被覆材 <input checked="" type="checkbox"/> 成形板等 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上塗材 <input type="checkbox"/> その他()		
調査方法	<input type="checkbox"/> 一次調査(書面調査) <input checked="" type="checkbox"/> 二次調査(現地調査) <input checked="" type="checkbox"/> 分析調査		
調査結果	今回調査(2025年3月)の分析調査結果から無含有が確認された。 [別添:分析結果表]		

・ 調査結果概要

資料番号	E-1
ページ数	2 / 2

特記事項（調査範囲（アクセス不能であった箇所、改修の場合は調査対象外の箇所）も記入）

1 【調査範囲】

解体に伴う全ての建材を対象として調査を行った。

2 【今回の分析結果から以下の検体から無含有を確認した】

No.1 ベニヤ＋塗装 内部 壁

3 【劣化状況】

特記事項無し。

4 【添付資料】

国土交通省・経済産業省 石綿(アスベスト)含有建材データベース
(令和7年3月26日参照)(資料番号1)

鹿沼市花木センター解体等予定建築物
アスベスト含有事前調査業務

【対象物件】

施設名	建物No.21 倉庫3	建物規模	■S造・□SRC造・□RC造・□木造 ・□その他()
竣工年	昭和57年(1978年)	建物用途	■事務所・□娯楽施設・□学校・□病院 ・□公共施設・□店舗・□その他()
所在地	鹿沼市鹿沼地区 鹿沼市花木センター及び周辺(9画区域)	工作物	・□ポイラー・タービン・化学プラント ・その他()
階数	地上1階建て		
延床面積	92.74㎡		

石綿含有建材の事前調査詳細表

資料番号	ページ数
E-2	1/1

【調査】

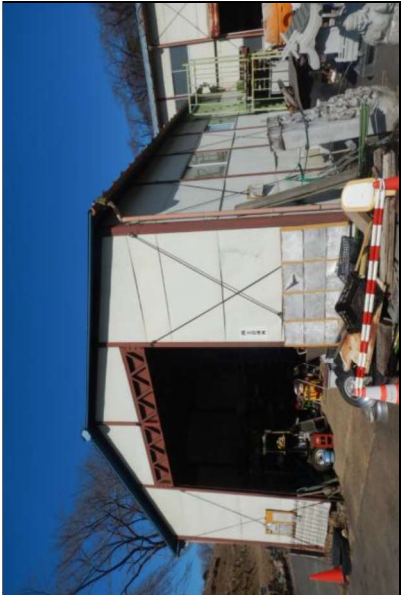
調査の種類	■1. 大気汚染防止法第18条、石綿障害規制第3条に基づき事前調査 □2. その他の調査	
調査期間	一次調査(現地調査)	二次調査(現地調査)
実施者	氏名	資格他
	—	鈴木 樹
建築物石綿含有 建材調査者		

調 査 箇 所			一 次 調 査 (書 面 調 査 ・分 析 調 査 結 果 報 告 書)						二 次 調 査 (現 地 調 査)				結 果					
写真 No.	部屋名	部位 ¹⁾	備考	材料名 ²⁾	商品名 メーカー ²⁾	石綿の有無	石綿の 種類 ³⁾	判断 根拠 ⁴⁾	添付資料 ⁵⁾	整合性 確認	気付き事項 ⁶⁾	試料番号 ⁷⁾	採取位置 ⁸⁾	判断 根拠 ⁴⁾	添付 資料 ⁵⁾	石綿の有無	石綿の 種類 ³⁾	レベル ⁹⁾
1 2 3	外部	■屋根		—	—	■不明	—	—	—	—	カラー調板	—	—	a	1	■無し	—	—
		■外壁		—	—	■不明	—	—	—	—	調板	—	—	a	1	■無し	—	—
		■巾木		—	—	■不明	—	—	—	—	コンクリート	—	—	a	1	■無し	—	—
4	内部	■天井		—	—	■不明	—	—	—	—	ベニヤ	—	—	a	1	■無し	—	—
		■壁		—	—	■不明	—	—	—	—	ベニヤ+塗装	No.1	報告書	z	—	■無し	—	—
		■床		—	—	■不明	—	—	—	—	土間コンクリート	—	—	a	1	■無し	—	—

- 1) その他は部位を記入
クリソタイル=Ch
アモサイト=Am
クロンドライト=Cr
アンソフワイト=An
トレモライト=Tr
アクチノライト=Ac
不明=Nd
- 2) 設計図書がある場合に記入
4) 判断根拠とした文書の種類
(記号を裏に記入)
a 国土交通省・経済産業省・厚生労働省
石綿(アスベスト)含有建材データベース
b メーカーの証明書、ホームページ情報等
c 材料から無含有が明らかなもの
z その他(分析結果)
- 5) 添付資料番号を明記する
6) 記載事例
・図面は吹付けたか実物は成形紙。
・改修の痕跡あり。
・「マーキングあり、JISマークあり」
・「メーカー名、ロット番号あり」。
- 7) 現場で採取した
試料の資料番号と
検体別に採取年月日
を記載
8) 資料を採取した位置を
示す図面・見取り図、
写真等の資料番号を
記載
9) 黄色は、含有

目視状況写真 建物No.21 倉庫3

資料番号	ページ数
E-3	1 / 1



No.1 外部



No.2 外部



No.3 外部



No.4 内部



余 白



余 白